



E

Last Updated: June 20, 2007

email domain (network location id)

enable (IMAP)

enable (network location)

enable (VoiceView Express)

enabled (ccn application)

enabled (ccn reporting historical)

enabled (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

enabled (ccn trigger http) : IVR のみ

enabled (ccn trigger jtapi)

enabled (ccn trigger sip)

erase startup-config

email domain (network location id)

ボイスメール ロケーションの電子メール ドメインを設定するには、Cisco Unity Express ロケーション設定モードで **email** コマンドを使用します。ロケーションの電子メール ドメインを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
email domain {name | ip-address}
```

```
no email domain {name | ip-address}
```

シンタックスの説明

name	ロケーションの電子メール ドメイン ホスト名を設定します。
ip-address	ロケーションの電子メール ドメイン IP アドレスを設定します。

デフォルト

電子メール ドメインは設定されていません。

コマンド モード

ロケーション設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express

リリース	変更点
1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、ロケーションの電子メール ドメイン名または IP アドレスを設定します。ドメイン名は、リモート ロケーションに VPIM メッセージを送信するときに追加されます (たとえば、「4843000@mycompany.com」)。ドメイン名も IP アドレスも設定しない場合、このロケーションの Cisco Unity Express システムはネットワーク メッセージを受信できません。

このコマンドの **no** 形式を使用すると、指定したロケーションから電子メール ドメインが削除されます。



注意

リモート ネットワーク ロケーションの電子メール ドメインを削除すると、Cisco Unity Express モジュールからそのロケーションへのネットワーキングが自動的に無効になります。

ローカル ロケーションの電子メール ドメインを削除すると、Cisco Unity Express モジュールでのネットワーキングは無効になります。

ロケーションを再び有効にするには、ロケーションに有効な電子メール ドメインを割り当てます。

例 次の例では、ネットワーク ロケーション 9 の電子メール ドメインが 10.12.0.1 に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# network location id 9
se-10-0-0-0(config-location)# email domain 10.12.0.1
se-10-0-0-0(config-location)# end
se-10-0-0-0(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ccn application	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
show ccn application	CCN アプリケーションの詳細を表示します。

enable (IMAP)

統合メッセージング (IMAP) 機能をシステム全体で有効にするには、Cisco Unity Express IMAP モードで **enable** コマンドを使用します。IMAP 機能を無効にするには、このコマンドの **no** 形式または **default** 形式を使用します。

enable
no enable
default enable

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

デフォルト IMAP は無効になっています。

コマンド モード Cisco Unity Express IMAP

コマンド履歴	Cisco Unity Express リリース	変更点
	2.3	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン AIM ではこのコマンドは使用できません。

例 次の例では、IMAP 機能を有効にしています。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# service imap
se-10-0-0-0(config-imap)# enable
```

関連コマンド	コマンド	説明
	groupname	IMAP 機能をグループに割り当てます。
	session idletimeout (IMAP)	セッションを終了するまでの秒数を指定します。
	service imap	IMAP 設定モードを開始します。
	session security	セキュリティ接続のタイプを指定します。
	show imap configuration	設定された IMAP パラメータを表示します。
	show imap sessions	アクティブな IMAP セッションを表示します。

enable (network location)

ネットワーク ロケーションで Cisco Unity Express ボイスメールメッセージの送受信を有効にするには、Cisco Unity Express ロケーション設定モードで **enable** コマンドを使用します。ロケーションを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

enable

no enable

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

デフォルト ネットワーク ロケーションは有効になっています。

コマンド モード Cisco Unity Express ロケーション設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express

リリース	変更点
------	-----

2.1	このコマンドが導入されました。
-----	-----------------

使用上のガイドライン

ネットワーク ロケーションは、Cisco Unity Express ボイスメールメッセージを送受信するために、デフォルトで有効になっています。ロケーションとの通信を防止するには、**no enable** コマンドを使用します。ネットワーク ロケーションとの通信を再び確立するには、**enable** コマンドを使用します。



(注) **no enable** コマンドを使用しても、ネットワーク ロケーションが Cisco Unity Express データベースから消去されることはありません。

例 次の例では、ネットワーキングが無効になっているネットワーク ロケーション 15 の詳細が表示されます。

```

se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# network location id 15
se-10-0-0-0(config-location)# no enable
!!!WARNING!!!:Disabling location will disable
networking to/from this location.
Do you wish to continue[n]?:y
se-10-0-0-0(config-location)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
se-10-0-0-0#
se-10-0-0-0# show network detail location id 15

Name:                houston
Abbreviation:        hou
Email domain:        how.cue.abcdef.com
Minimum extension length:  2
Maximum extension length: 15
Phone prefix:        4
VPIM encoding:       dynamic
Send spoken name:    enabled
Send vCard:          enabled
State:               disabled
VPIM broadcast ID:   vpim-broadcast
Sent msg count:      1
Received msg count:  1

```

次の例では、ネットワーク ロケーション 15 でのボイスメールの送受信が再度有効になります。

```

se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# network location id 15
se-10-0-0-0(config-location)# enable
se-10-0-0-0(config-location)# end
se-10-0-0-0(config)# exit

```

関連コマンド

コマンド	説明
network location	リモート サイトのネットワーク ID を指定します。
show network detail	指定したネットワーク ロケーションの詳細を表示します。

enable (VoiceView Express)

VoiceView Express 機能を有効にするには、Cisco Unity Express VoiceView Express モードで **enable** コマンドを使用します。VoiceView Express 機能を無効にするには、このコマンドの **no** 形式または **default** 形式を使用します。

enable

no enable

default enable

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

デフォルト VoiceView Express は有効になっています。

コマンド モード Cisco Unity Express VoiceView Express

コマンド履歴	Cisco Unity Express リリース	変更点
	2.3	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン AIM ではこのコマンドは使用できません。

例 次の例では、VoiceView Express 機能を有効にしています。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# service voiceview
se-10-0-0-0(config-voiceview)# enable
```

関連コマンド	コマンド	説明
	session idletimeout (VoiceView Express)	セッションを終了するまでの秒数を指定します。
	service voiceview	VoiceView Express 設定モードを開始します。
	show voiceview configuration	設定されている VoiceView Express パラメータを表示します。
	show voiceview sessions	アクティブな VoiceView Express セッションを表示します。

enabled (ccn application)

アプリケーションを起動するには、Cisco Unity Express CCN アプリケーション設定モードで **enabled** コマンドを使用します。アプリケーションを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

enabled

no enabled

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

コマンドモード CCN アプリケーション設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express	
	リリース	変更点
	1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
	1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
	1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

例 次の例では、autoattendant アプリケーションを有効にしています。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn application autoattendant
se-10-0-0-0(config-application)# enabled
se-10-0-0-0(config-application)# end
se-10-0-0-0(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ccn application	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
	show ccn application	CCN アプリケーションの詳細を表示します。

enabled (ccn reporting historical)

Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースを有効にするには、Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定モードで **enabled** コマンドを使用します。レポート履歴データベースを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

enabled

no enabled

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

コマンドデフォルト レポート履歴データベースは有効になっています。

コマンドモード Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express

バージョン

変更点

3.0

このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

レポート履歴データベースはデフォルトで有効になっています。レポート履歴データベースを無効にすると、通話に関連するイベントはデータベースに保存されません。

例

次の例では、Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースが無効になります。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn reporting historical
se-10-0-0-0(config-hrdm)# no enabled
se-10-0-0-0(config-hrdm)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド

コマンド

説明

show ccn reporting historical

Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの設定内容を表示します。

enabled (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベース サブシステム (EDBS) プロファイルを有効にして、スクリプトを実行するためにデータベース手順で使用するには、Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定モードで **enabled** コマンドを使用します。データベースを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

enabled

no enabled

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

コマンドデフォルト EDBS プロファイルは有効になっています。

コマンド モード Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express	
	バージョン	変更点
	3.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン データベース プロファイルのパラメータを設定した後で **enabled** コマンドを使用し、スクリプトで使用するために Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイルを有効にします。

例 次の例では、コマンドの **no** 形式によって EDBS プロファイル *mydbprofile* が無効になります。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem edbs dbprofile mydbprofile
Adding new Database profile
se-10-0-0-0(config-dbprof)# no enabled
se-10-0-0-0(config-dbprof)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ	Cisco Unity Express IVR EDBS の設定内容を表示します。

enabled (ccn trigger http) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR の HTTP ベース URL およびアプリケーション トリガーを有効にするには、Cisco Unity Express IVR HTTP トリガー設定モードで **enabled** コマンドを使用します。トリガーを無効にして着信 HTTP 要求を処理しないようにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

enabled

no enabled

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

コマンドデフォルト HTTP ベース トリガーは有効になっています。

コマンドモード Cisco Unity Express IVR HTTP トリガー設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express

バージョン

変更点

3.0

このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

HTTP トリガーのパラメータを設定した後、**enabled** コマンドを使用して着信 HTTP 要求の処理を開始します。

例

次の例では、HTTP ベース トリガー アプリケーションを有効にしています。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn trigger http urlname myhttpapp
Adding new trigger
se-10-0-0-0(config-trigger)# application myapplication
se-10-0-0-0(config-trigger)# enabled
se-10-0-0-0(config-trigger)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ccn trigger http : IVR のみ	トリガーおよびアプリケーションの設定を表示します。設定された Cisco Unity Express IVR の HTTP ベース トリガーの設定を表示するには、 show ccn trigger http コマンド オプションを使用します。

enabled (ccn trigger jtapi)

トリガーを起動するには、Cisco Unity Express CCN トリガー設定モードで **enabled** コマンドを使用します。トリガーを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

enabled

no enabled

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

コマンドモード CCN トリガー設定モード

コマンド履歴	Cisco Unity Express	
	リリース	変更点
	1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
	1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
	1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

例 次の例では、トリガー 1234 を有効にしています。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn trigger jtapi phonenumber 1234
se-10-0-0-0(config-trigger)# enabled
se-10-0-0-0(config-trigger)# end
se-10-0-0-0(config)#
```

関連コマンド	コマンド	
	コマンド	説明
	ccn trigger jtapi phonenumber	トリガー設定モードを開始します。
	show ccn trigger all	CCN トリガーの詳細を表示します。

enabled (ccn trigger sip)

トリガーを起動するには、Cisco Unity Express CCN トリガー設定モードで **enabled** コマンドを使用します。トリガーを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

enabled

no enabled

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

コマンドモード CCN トリガー設定モード

コマンド履歴	Cisco Unity Express	
	リリース	変更点
	1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
	1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
	1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

例 次の例では、トリガー 1234 を有効にしています。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn trigger sip phonenumber 1234
se-10-0-0-0(config-trigger)# enabled
se-10-0-0-0(config-trigger)# end
se-10-0-0-0(config)#
```

関連コマンド	コマンド	
	コマンド	説明
	ccn trigger sip phonenumber	トリガー設定モードを開始します。
	show ccn trigger all	CCN トリガーの詳細を表示します。

erase startup-config

スタートアップ コンフィギュレーションを消去するには、Cisco Unity Express EXEC モードで **erase startup-config** コマンドを使用します。

erase startup-config

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

コマンドモード Cisco Unity Express EXEC

コマンド履歴	Cisco Unity Express	
	リリース	変更点
1.0		このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1		このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2		このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

例 次の例では、スタートアップ コンフィギュレーションがフラッシュ メモリから削除されます。

```
se-10-0-0-0# erase startup-config
```

関連コマンド	コマンド	
	コマンド	説明
	write	実行コンフィギュレーションをスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。